



首都圏産業活性化協会会員の構成(令和7年2月20日現在総数561) ●営利法人:282(個人事業主、金融機関含む) ●教育機関28 ●団体72 ●自治体20 ●個人会員159(コーディネーター含む)



トップインタビュー

株式会社MEMOテクノス 代表取締役 **渡邊 将文氏**

MEMOテクノス(相模原市南区)は、音響と自動制御をコア技術とし、自動放送システムやロボット・IoTのシステムインテグレーション(SI)などを手掛けています。近年は産業現場などでの省人化システムの受託開発に力を入れ、生産性向上に貢献。中でも駅で電車が近づいてきた時にアナウンスを流す自動放送装置では、首都圏でトップシェアを誇ります。今回は同社の渡邊将文社長に話を聞きました。

音響・自動制御技術で 産業現場の省人化に貢献

産業現場のソリューションを提供

私たちは音響をコア技術とした技術者の集まりとして、もともと幅広い製品やサービスを手掛けており、中心にあるのは産業現場の省人化です。自動放送装置も、人が介在せずに、自動で危険性を検知して対象者に注意喚起します。これにより人の手間を省けます。

当社は自動放送と同じように、ロボットで情報を自動的に収集したり、検査を自動で行ったりするという省人化に関するサービスを提供しています。“ソリューションデベロッパー”という言い方もあるように、当社は「省人化に関する機器やサービスを売っている会社」と言えるでしょう。

当社には、私を含め3人の“ソリューションデザイナー”がいます。お客様から与えられた課題に対するソリューションを一からデザインし、製品やサービスとして提供する立場です。

動くロボットのニーズ

ロボット分野では最近、人との協働型ロボットや移動型ロボットの納入が増えています。配膳ロボットなど人の代わりになる既存のロボットを、いかにカスタマイズして

産業現場で活用するのが、一つのテーマです。

産業現場ではこれまで、ロボットは固定され決まった場所で決まった仕事をするのが一般的でした。現在はそれより一歩進み、ロボットに移動先で働かせるような開発に力を入れています。当社の導入例としては、自動車部品メーカーの検査工程に部品を運ぶ作業をロボットで代替。この他に、作業指示書などの帳票類をロボットで運ぶというような自動化も行いました。

また、研究開発や医薬品開発、電子機器製造などの分野で、「人が立ち入れない現場で使えるロボットを作れないか」といった引き合いも増えています。

TAMA協会の面的な取り組みに期待

地元の相模原市は、神奈川県が推進する「さがみロボット産業特区」の対象で、ロボット産業が集積し、私はさがみはらロボットビジネス協議会の初代会長を務めました。ただ、床屋さんやパン屋さんなどに聞いてみても、地域の方々は相模原がロボットの街であることをほとんど知りませんでした。そのため「このままではいけない」と思い、本村賢太郎相模原市長とも話をし

て、「さがみはらロボットアンバサダー」として周知活動をしているところで。

相模原に限らず、広域多摩地域の産業パフォーマンスはとて高いと感じていますが、自動化などの部分で遅れをとっていた部分もあり、逆に言えばビジネスチャンスも広がっています。こうした中で、TAMA協会は八王子と相模原という軸の強い地域を含み、広域で面的な取り組みも行われていると思います。「ロボット」というキーワードで、私も活動に協力しています。

会社の規模拡大を経営目標に掲げる

社内の生産性向上の面では今年から、熟練者の経験値やノウハウといった暗黙知を形式知化する取り組みを始めようと考えています。具体的には顧客先での現地対応で、経験の浅い従業員に小型カメラとヘッドセットを装着させ、経験値を持った人間がその人に音声やデータで情報を伝達し、リモートで指示を与えることを検討しています。

経営方針としてこれまで、会社を大きく



ずらりと並ぶ自動放送装置

するよりは、今いるメンバーの幸せを重視し、会社の価値を高めるということを優先していました。ただこの1年で考え方が180度変わり、会社をスケール(大きく)させると決めました。その大きな理由の一つは、まず私がオーナー社長で、ほぼ唯一の株主であるということです。

「私がいなくなったらこの会社はどうなるのだろうか」と考えた時に、やはり誰かが引き継がないと会社は存続しません。それならば、少しでも引き継いでくれる仲間を増やす必要があり、ある程度の規模が必要だと実感しています。今年の初めに社員向けにも会社の事業方針を説明し、3年後には売り上げを倍にするという目標を立てました。今後はこの方針に則り、経営を続けていきます。



製品の組み立て現場



出荷前の自動放送装置

商号 株式会社MEMOテクノス
代表者 代表取締役 渡邊 将文
所在地 神奈川県相模原市南区大野台1-5-2
従業員数 17名
創立 2006年10月
ホームページ <https://www.memotechnos.co.jp/>



My proud technique is...

TAMA協会会員の

今月の

ワザ自慢!



効率アップ、品質向上、明日のイノベーションのため、独自に磨いた技・業・ワザに学びたい。コンペティターや見えない市場を想定し、自社の強みを打ち出すところに成功の鍵がある。

各種緩衝材・設計・試験・製造・販売 カネパッケージ株式会社

梱包の設計から物流まで一貫で中国・東南アジアにもネットワーク

カネパッケージ(埼玉県入間市)は、製品を保持する「緩衝材」の開発をコア技術として、梱包から配送までをフォローする総合的な物流体制を構築している。梱包材のダウンサイジング化や省資源化、積載効率の向上、コストの最適化を提案。「中国、フィリピン、ベトナム、タイ、インドネシアの海外拠点でも、設計開発や評価試験ができる体制を完備し、海外にもネットワークを整備している」(金坂良一社長)のも特徴だ。

TAMA協会の会員で同社と取引がある企業は、「技術力はもちろんのこと、提案力とスピー

ド感が素晴らしい」と太鼓判を押す。例えば、初回の打ち合わせで顧客のニーズを聞き取ると、すぐにオリジナル梱包材のサンプルを製作し、顧客とともに仕様決めを行う。製品の形状や大きさ、同梱するものの仕様などはギリギリまで決まらないことが多い。このため製品を発送する顧客側にとっては、サンプルができるまでのスピードが速いと助かるという。

カネパッケージは過去に蓄積したデータ・ノウハウを生かすとともに、新たな発想を加えながら梱包設計を行う。



大阪万博の会場内に設置を予定している間伐材ベンチ



フィリピンでのマングローブ植林活動

具体的には、顧客から受け取った製品図面を基に、CAD(コンピュータによる設計支援ツール)上で設計。設計が完了すると、すぐにサンプルカッティングマシンとCAM(工作機械を動かすためのプログラムを作成するソフト)に接続し、試作品を製作する。この流れが、設計試作におけるリードタイムの短縮に貢献している。

また、同社は社会貢献活動にも積極的で、売上全体の0.1%をマング

ローブ活動資金にあてフィリピンのセブ島を中心に植樹活動を進めている。今後5年間で「500万本の植樹」を目指し、2024年11月には、フィリピンのバナコン島でマングローブ植林ツアーを開催。環境配慮型製品として間伐材ベンチの企画・販売も行っており、大阪・関西万博の会場内への設置を予定している。

商号 カネパッケージ株式会社
 代表者 代表取締役 金坂良一
 所在地 埼玉県入間市南峯1095-15
 創立 1976年9月
 ホームページ <https://www.kanepa.co.jp/>



(本コーナー掲載企業募集中)

貴社の「ワザ自慢!」を記者が取材します。お問い合わせは、事務局(info@tamaweb.or.jp)まで



TAMA協会 ハイブリッド型交流会を開催 会員100社・団体の技術パネルが集結



会場に貼られた技術パネル

首都圏産業活性化協会(TAMA協会)は1月10日、会員企業によるパネル展示会と経営課題ごとの専門家相談窓口、セミナーを同一会場内に集約させ、同時に実施する初のハイブリッド型交流会「TAMA技術交流会@八王子」を、東京たま未来メッセ(東京都八王子市)で開催した。当日はものづくり系企業を中心に、約100社・団体の技術がパネル展示された。

相乗効果見込む

会場内では「セミナーステージ」「(専門家による)個別相談スペース」「商談スペース」が設けられたほか、壁面には会員各社の技術レポートがパネル展示されていた。企業関係者を中心に100人超が来場。セミナーを聞きに来た人が、パネル展示企業に関心を示し商談したり、専門家相談ブースに立ち寄りたりするなど、相乗効果を見込んだという。

ブースは「労働環境整備」「高度海外人材」「カーボンニュートラル対策」「価格転嫁対

策」の4テーマに分類された。一方、半導体商社大手、マクニカ(横浜市港北区)による「半導体産業の動向と市況見込み」や、宇宙航空研究開発機構(JAXA)による「宇宙ビジネス」などのテーマでセミナーも行われた。

同協会の芳賀啓一事務局長は「次回以降もこのスタイルでやっていきたい。できればパネル展示企業の資料も参加者にも事前配布し、マッチングの精度も高めていきたい」と話した。

新春講演会・賀詞交歓会

後半は新春講演会・賀詞交歓会も同じ会場

実施報告

Layer1:交流

TAMA技術連携交流会@八王子

TAMA協会は1月10日、東京たま未来メッセで会員企業100社の製品・技術PRレポートのポスターを掲示した交流会を開催しました(詳細は2面に)。

首都圏産業活性化協会 令和7年 賀詞交歓会(新春講演会)

TAMA協会は1月10日、東京たま未来メッセでTAMA技術連携交流会@八王子と同時に開催で、賀詞交歓会を行いました(詳細は2面に)。

第15回自治体地域産業政策勉強会(令和6年度第2回産業振興セミナー)

TAMA協会は1月21日、東京たま未来メッセで「第15回 自治体地域産業政策勉強会」を開催しました。板橋区立企業活性化センターの中嶋修センター長が「事業承継支援のペースとなる経営支援について」と題し講演。11自治体が集まり、活発な意見交換が行われました。

彩の国ビジネスアリーナ2025

TAMA協会は1月22、23日の2日間、さいたまスーパーアリーナで開催された「彩の国ビジネスアリーナ」に出展しました。同協会の賀詞交歓会に登壇した真田幸光氏の講演があり、会員企業も多く参加、情報交換など活発なコミュニケーションを図ることができました。

テクニカルショウヨコハマ2025

TAMA協会は2月5~7日の3日間、パシフィコ横浜で行われたテクニカルショウヨコハマに出展。多くの会員企業、関係機関が来場し、ブースで情報交換しました。また、主催者特別展示コーナーでは、生成AIをテーマとしてミニセミナー・体験コーナーを運営。生成AIに興味のある多くの方々に参加し「分かりやすく楽しかった」との声が上がりました。

第42回はむらイブニングサロン

TAMA協会は2月21日、羽村市産業福祉センターで「企業防衛力強化!」をテーマに、第42回はむらイブニングサロンを開きました。登壇者は3名で、「組織を守るためのサイバーセキュリティ入門」(警視庁 サイバー犯罪対策本部 対策第二担当者)、「中小企業向けガイドラインをフル活用! 今すぐ始められる情報セキュリティ対策」(中小企業診断士・ITコーディネーターのTAMA協会小川直樹)、「企業を守る法律知識を知ろう」(オンライン法律事務所タマ弁護士の増田周治氏)という内容でした。参加者は講演後に情報交換を積極的に行っていました。

第9回つなぐWa Session・Global

TAMA協会は2月25日、ゲストスピーカー3名を迎え、八王子市新産業開発・交流センターで第9回つなぐWa Session・Globalを開催しました。今回は「チャンスは外からのみやって来る!」をテーマに、近藤千奈美・コンテックス代表取締役が講演。また「中堅・中小企業の海外展開をサポートする『新輸出大国コンソーシアム』のご案内」について高塚一・日本貿易振興機構(ジェトロ)海外展開支援部主幹が話しました。一方、「海外展開における知的財産・英語を用いた交渉・契約の極意」について、横山理恵・ソアリス代表も講演しました。



今後の予定

(予定は変更になる可能性があります。詳細はホームページをご確認ください)



第51回つなぐWaSession

日時:2025年3月28日(金) 場所/内容 未定 ※詳細は近日中にホームページに掲載します

合同新人研修2025

日時:2025年4月2日(水)、3日(木)、4日(金) 10:00~17:00
場所:八王子市学園都市センター 第5セミナー室(八王子オクトーレ12階)
講師:KIBI上級研究員 見附誠子氏
ものづくり基礎講座
TAMAコーディネーター 横山勝治氏

第4回「首都圏産業活性化協会 ゴルフコンペ」

日時:2025年5月14日(水) 開会式8:00から
場所:越生ゴルフクラブ(埼玉県ときがわ町)
内容:10組(予定)でゴルフ
好プレー・珍プレーなど楽しく! 会員の皆さま同士の親睦と連携強化を目的として開催します。

「未来モノづくり国際EXPO」 TAMA協会ゾーン

日時:2025年7月16日(水)~19日(土)
場所:インテックス大阪(大阪府住之江区)
※出展ブース特別価格販売で出展企業を募集集中です。

高瀬総合法律事務所

困ったとき
困ることが起きる前
企業の発展をさせたい時
ぜひご相談ください。

下請法・株主総会運営
IPO・M&A
特許・知的財産

KANAGAWA OFFICE
相模原市緑区橋本6-5-10 中屋第2ビル2-E
TEL 042-770-8611 FAX 042-770-8622

TOKYO OFFICE
東京都新宿区西新宿1-20-3 西新宿高木ビル8階
TEL 03-3344-6155 FAX 050-3558-6358

株式会社厚木ミクロ

従業員の70%は未経験者

スタッフ大募集!!

事業拡大のため、一緒に働いてくれる仲間を探しています。
従来の工場のイメージとは異なる“クリーンルーム”で
最先端の「ないモノづくり」を一緒に体感してみませんか?

求人の詳細/ご応募は、厚木ミクロのホームページから
お問い合わせ ☎ 046-248-7007 9:00~17:00 (土日祝を除く)



同じ会場で行われたセミナー



専門家が待機する相談ブース



世界情勢の展望を語る真田副学長

で開催。毎年登壇している真田幸光嘉悦大学副学長(愛知淑徳大学名誉教授)が2025年の国際環境と経済情勢をテーマに講演した。真田副学長はウクライナ情勢の背景として、「金融経済」対「実体経済」の戦いを挙げた。金融経済をおさえれば優位に立てるとする米英に対して、エネルギーやモノといった実体経済をおさえて対抗するロシア・中国の構図になってい

ると分析。「今のところ実体経済が有利になっている」との見方を示した。さらに、欧州各国の政治問題、トランプ大統領就任でアメリカがどう変わるのかを解説。そのうえで「したたかな考えを持つアメリカに対し、日本はどう対峙するかが問われる」「今年は日本を再び強くするための初年度になる」と締めくくった。講演終了後には会場を隣に移し、立食形式

の懇親会が行われた。**事業報告会も同時開催** 一方、同日は東京たま未来メッセの別会場で中小企業庁「令和6年度 中小企業のイノベーション創出を支援するイノベーション・プロデューサー」事業報告会も開催された。同事業は、プロダクトイノベーションを将来構想に掲げる中堅・中小企業に対する伴走支援

を行う人材「イノベーション・プロデューサーの担い手」を育成することを狙ったもの。芳賀事務局長が中小企業庁からイノベーション・プロデューサーとして採択されたことを受け、今回の実証事業を実施した。報告会では、今回伴走支援を受けた協同商事、大坪GSI、中西産業の代表者がそれぞれ登壇し、成果を発表していた。



広げよう会員の輪 **新規会員の紹介**



新規会員との意見交換・面談を希望する方は、事務局へご連絡ください。

NEW

開発設計から各種加工～組立までの各種対応ができる

建築金物に携わってきた75年の経験からカタログ品の販売にとどまらず

- ◇オーダー丁番の対応
- ◇窓やドア周辺の機能部品の開発設計
- ◇精密板金(レーザ加工・ベンダー)加工
- ◇亜鉛ダイカスト鋳造
- ◇各種組立や検査(省力化機器を自社制作)などへの対応を行っておりますので、一度ご相談ください。



中西産業株式会社
 千葉県鎌ヶ谷市初富866-1(鎌ヶ谷工場)
 TEL 047-442-2211
 URL <https://www.nakanishi-sangyo.co.jp/>



NEW

安心・安全・確実な無害化処理

長沼商事株式会社は、鉄・非鉄スクラップを中心としたリサイクル業や産業廃棄物の中間処理を行っています。

当社は、昭和12年4月に所沢の地に開業して以来、環境ビジネスに携わる一員として、資源循環型社会への実現に貢献できる体制を構築しつつ時代の要請に応えて参りました。

そんな中、自治体から「家庭から穴を開けずに回収したスプレー缶」等爆発の危険性がある廃棄物の処理ができないかと相談を受けました。試行錯誤の末に、2013年2月に今の原型となるスプレー缶専用の無害化処理機を導入しました。それ以来、「スプレー缶・使い捨てライター」の無害化処理を行える業者が少ないことから自治体からの依頼が急増。10年以上の処理実績を持つ中で、工夫改善を重ね、自社で現在の処理機を開発しました。また、無害化処理後の「スプレー缶・使い捨てライター」は本社工場にて、破碎・選別し、それぞれの素材に合わせてほぼ全量をリサイクルしております。これからも、自治体の方々向けに「安心、安全、確実な無害化処理」を提供していきたいと考えております。



長沼商事株式会社
 埼玉県所沢市林1-306-7
 TEL 04-2947-8870
 URL <https://www.recycle-eco.com>



NEW

個人会員

河野 芳弘(かわの よしひろ) MBA、医工学博士、PMI - PMP **得意領域** 医療機器、IVD製品や理化学機器の海外展開支援、スタートアップ支援

田宮 弘樹(たみや ひろき) 税理士 **得意領域** 法人申告、個人確定申告、相続税申告相談

寺島 慎太(てらじま した) **得意領域** マーケティング、販路開拓、企業戦略、企業認知&製品価値向上を目指したマーケティング施策全般のプロジェクトプロデュース

会員企業アンケート 「最も関心のあるもの」は？ 首位は昨年同様「新製品・新市場開拓」に

TAMA協会は会員企業を対象に、このほどアンケートを実施しました。昨年同様に「新製品・新市場開拓」が1位となり、昨年3位だった「販路開拓・海外展開」は2位、「研究・技術開発」と「人材関連(採用・育成等)」は同率の3

位となり、トップ3の顔ぶれはここ3年実施したアンケートでは、変化がないという結果になりました(有効回答者数は42社)。詳細を見ると、昨年同様に1番関心が高かった「新製品・新事業開発」で

は、「新製品開発の具体的なやり方」「公的支援策」への関心が高く、2番目に関心の高かった「研究・技術開発」では「新技術に関する情報収集方法」への関心(31%)と「自社が開発した技術に対する評価の受け方」(19%)が高

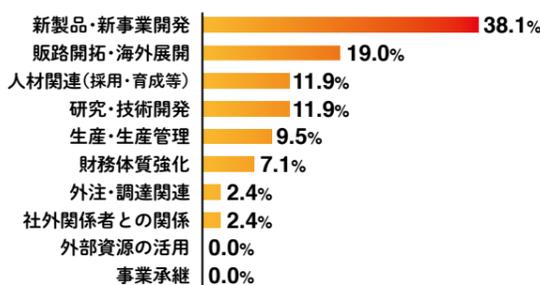
い結果となりました。新製品・新事業開発については昨年同様にいいなヒアリングを心掛け、「具体的なやり方」に対するスキームを協会内で協議し、有効な提案へと結び付けます。

「公的支援策」については、協会内のノウハウと各省庁のネットワークを最大限活用し、提案活動に力を入れます。

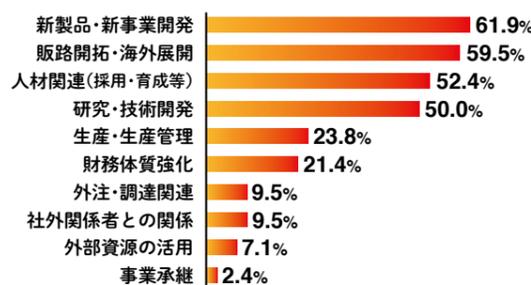
関心上位3項目の2023年度と2024年度との比較

	2023年度	2024年度
1	新製品・新事業開発 37.9%	新製品・新事業開発 38.1%
2	人材関連(採用・育成) 27.6%	販路開拓・海外展開 19.0%
3	販路開拓・海外展開 15.5%	研究・技術開発、人材関連 11.9%

自社にとって最大の関心事は？ (複数回答)



関心ある上位3項目の合計 (複数回答)



編集後記

山梨中央銀行から弊協会へ出向して、もうすぐ1年が経過しようとしています。当初、「TAMA協会は何をしているのだろうか？果たして自分に務まるのか？」などの不安を抱きながら出勤初日を迎えたのが懐かしいです。会員企業様への訪問・取材、イベント・セミナー運営では、会員様・事務局員の方々に温かく迎えていただき、感謝申し上げます。弊協会イノベーション創出支援の土台である「交流」を通して、貴重な経験をすることができました。厳しい経済状況が引き続き予想されますが、お困りごとの際は是非、弊協会へご相談をお待ちしております。(石川)

TAMA経済NEWS(つなぐWa)では広告協賛いただける企業を募集しています。詳細は事務局(info@tamaweb.or.jp)までお問い合わせください。
【サイズ】①横57[㍉]×縦48[㍉]、②横57[㍉]×縦100[㍉]、③横129[㍉]×縦98[㍉]、④横129[㍉]×縦142[㍉](特別枠)の計4タイプがあります。

発行元・問い合わせ

一般社団法人首都圏産業活性化協会 会報「つなぐWa」は、協会ホームページへ掲載し、メールマガジン等で企業・自治体・商工団体・金融機関等へご案内しています。
 一般社団法人首都圏産業活性化協会 Email: info@tamaweb.or.jp URL: <https://www.tamaweb.or.jp/>

■八王子事務所

〒192-0083 東京都八王子市旭町 9-1
 八王子スクエアビル 11 階
 TEL: 042-631-1140 FAX: 042-631-1124

■羽村サテライト(月曜日休館)

〒205-0003 東京都羽村市緑ヶ丘 2-11-1
 羽村市産業福祉センター 1 階
 TEL: 042-570-3481 FAX: 042-570-3482

■相模原サテライト

〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本 5-4-21 さがみはら産業創造センター(SIC) Desk10